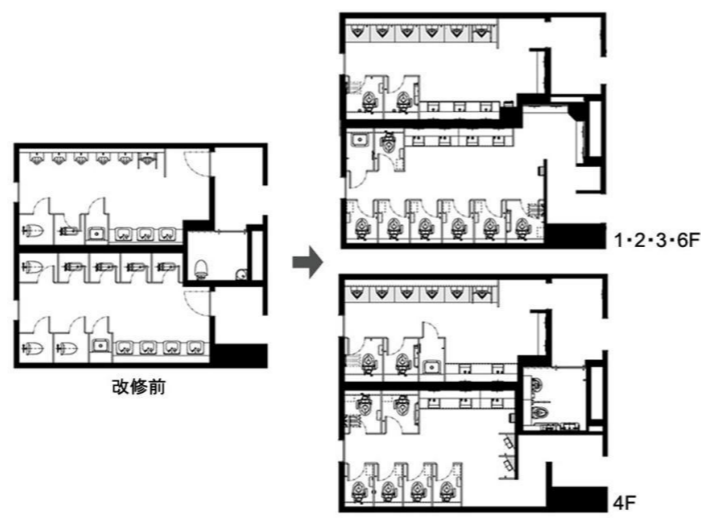


外観



5号館は大学創立30周年記念事業の一つとして、1996年に情報教育の拠点として建設された。地下1階、地上8階の9階建てで、主に教室で構成されている。

トイレ図面



トイレ入口のドアをなくしたオープンな空間。すべてウォシュレットを設置した洋式便器に変更し、身だしなみ配慮として女性トイレにパウダーコーナー、男性トイレに身繕いコーナーを設置している。

2・3・6F 男性トイレ 小便器コーナー



尿石の付着やにおいの発生を抑制することができる、ジアテクト機能付きの小便器を採用。足元には、尿の飛散によるにおいや汚れを軽減できるハイドロセラフロアPU（薄型）を設置している。

2・3・6F 男性トイレ 大便器ブース



環境やメンテナンス性に配慮して、大便器は4.8L洗浄の掃除口付きパブリックコンパクト便器を採用。すべてにウォシュレットを設置し、フィッティングボードや除菌クリーナーも完備している（男女共通）。

1F 女性トイレ 洗面・パウダーコーナー



水濡れを心配せずに荷物を置くことができるポウルー一体形ツインデッキカウンターを採用。パウダーコーナーは、外国製のペンダントライトなど、清々しく気分を高めてくれる空間演出が施されている。

2・3・6F 女性トイレ 洗面・パウダーコーナー



インテリアの素材選定には女子職員の声も反映。壁材にはビニールクロスを使用し、アクセントにファブリックパネルを飾りつけたデザイン性の高い空間を演出。

4F 多機能トイレ



便器や手すりの前出を抑えたコンパクト多機能トイレパックを採用。車いす使用者のほかオストメイトの方にも配慮し、オストメイト対応トイレパックも備えている。

改修前トイレ



改修前のトイレは照明も薄暗く、壁・床ともタイル張りの旧態イメージの寒々しい雰囲気、リフレッシュできる空間ではなかった。

4F 女性トイレ 洗面・パウダーコーナー



4Fのパウダーコーナーは、視線を気にせずに、落ち着いて身だしなみチェックができるように、間仕切りを設置。棚付全身鏡を設置し、ドライヤーや携帯充電のためのコンセントも用意されている。

男性トイレ 身繕いコーナー



男子学生においても、服飾への感度が高まる中、男性トイレにも、身だしなみのチェックができる身繕いコーナーをすべてのトイレに設置。就職活動時などにおいて、髪型や服装のチェックをすることができる。

建築概要

名称	追手門学院大学 5号館トイレ改修
所在地	大阪府茨木市西安威2丁目1番15号
施主	学校法人追手門学院
設計	TOTOエンジニアリング株式会社
施工	TOTOエンジニアリング株式会社
工事期間	1F 2014年2月15日～2014年3月19日 2・3・4・6F 2014年8月4日～2014年9月18日
竣工年月	(改修) 1F 2014年3月 (改修) 2・3・4・6F 2014年9月

水まわりの特長

<改修の経緯>
追手門学院は、1888年に西日本で最初の私立小学校として創設された、大阪府茨木市に端を発する。追手門学院大学は追手門学院の創立80周年記念事業の一つとして1966年に開設。2015年度から、地域創造学部を新設して6学部、大学院4研究科を擁する人文社会科学系の総合大学である。
5号館は、大学創立30周年記念事業の一つとして1996年に情報教育の拠点として建設。学生で構成された意識委員会において、学生や教授から「トイレをキレイにしてほしい」という要望が上がり、トイレの改修を実施した。

<トイレの特長>
「明るく清潔感のある空間にして欲しい」「パウダーコーナーの設置」「オストメイト対応トイレの設置」といった意識委員会からの要望を反映し、充実したキャンパスライフにふさわしいトイレを実現。パウダーコーナーは、女子学生の感性にフィットする清新な印象のファブリックパネルを使用し、外国製のペンダントライトでオシャレな空間を演出。また女性トイレだけではなく男性トイレにも、身繕いコーナーを設置している。